≪秋期≫

受 験 番 号

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験　　解答

総合基礎科目

評 価	

問 1　以下の 30 問について、A～D の中で最も適切な選択肢をひとつ選んで◯で囲みなさい。

問題 1　近代心理学の成立に関して、最も適切な記述はどれか。

A. 心理学はもともと行動の科学として始まり、意識の研究は後から導入された。
B. 心理学は哲学から生まれ、実験的方法を導入することで学問として確立した。
C. 心理学は臨床実践を中心として発展し、基礎研究は後に付加された。
D. 心理学は社会問題の解決を目的として誕生した応用科学である。

問題 2　心理学における「科学者―実践家モデル（Scientist-Practitioner Model）」の説明として、最も適切なものはどれか。

A. 臨床家は科学的な研究成果をそのまま適用すべきであり、独自の判断は避けるべきである。
B. 研究者と臨床家は役割を明確に分け、それぞれ独立して活動すべきである。
C. 臨床経験を重視し、統計に基づく科学的エビデンスは補助的に用いる立場である。
D. 科学的研究と臨床実践を相互に往還させながら心理支援を行うモデルである。

問題 3　公認心理師の専門性や役割に関する記述として、**不適切なもの**はどれか。

A. 心理学に関する専門的知識および技術を用いて、心理状態の観察や分析を行う。
B. 保健・医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働など、複数の領域で活動する。
C. 精神疾患の診断および診断名の確定を、公認心理師が単独で行うことができる。
D. 心理に関する支援を行うにあたり、関係機関や他職種と連携・協働することが求められる。

問題 4　データ分布の特徴を表す指標のうち、外れ値の影響を受けにくいものとして、最も適切なものはどれか。

A. 分散
B. 標準偏差
C. 中央値
D. 平均値

問題 5　統計的に有意な差の解釈について、**誤っているもの**はどれか。

A. サンプルサイズの大きさによって得られた結果かもしれない。
B. 仮説が証明されたと結論づけるのは時期尚早である。
C. 因果関係が証明されたといえる。
D. 必ずしも実用的に意味のある差がみられたとはいえない。

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問題 6　心理学実験において、内的妥当性を最も高める工夫はどれか。

A. 標本サイズを大きくする
B. 実験参加者を無作為に割り当てる
C. 実験結果を詳細に記述する
D. 異なる文化圏で再現研究を行う

問題 7　自由再生課題における系列位置効果と**関連しないもの**はどれか。

A. 初頭効果
B. 新近性効果
C. マジカル・ナンバー
D. リハーサル

問題 8　反復的な練習によって獲得される記憶として、最も適切なものはどれか。

A. 手続き記憶
B. 展望記憶
C. エピソード記憶
D. プライミング記憶

問題 9　基本味**ではないもの**はどれか。

A. 甘味
B. 旨味
C. 辛味
D. 塩味

問題 10　学習に関連した記述として**誤っているもの**はどれか。

A. 馴化とは、同じ刺激を繰り返して提示したときに、その刺激に対する反応が増加する現象である。
B. 古典的条件づけとオペラント条件づけにおける強化はそれぞれ違う働きをする。
C. 学習には疲れや薬物などによる変化や一時的な変化は含まれない。
D. スキーマとは、ものごとを理解したり一連の行動をとったりする際に利用される体系的な知識である。

問題 11　次のうち、ゲシュタルト心理学の立場を最もよく表している記述はどれか。

A. 全体は部分の単純な総和にすぎない。
B. 心理現象は刺激の頻度と強度によって決定される。
C. 全体は部分の総和とは異なる。
D. 心理現象は無意識的葛藤の表出である。

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問題 12　感情と認知との関連に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A. ポジティブな気分の時には過去のポジティブな出来事が想起されやすい現象を、気分（感情）一致効果という。

B. 気分状態によって他者の評価が変わる現象を気分状態依存効果という。

C. 感情ネットワークモデルは、記憶や判断などに及ぼす感情の影響を説明するために、記憶の処理水準モデルを適用して提唱されたものである。

D. 感情情報モデルは、ある感情を経験するとそれと連結している記憶が活性化され思い出されやすくなることを説明するモデルである。

問題 13　行動遺伝学に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A. パーソナリティや知能などの個人差について、遺伝子配列や遺伝子の構造を同定することを主な目的とする学問である。

B. 双生児と養子の比較を行う双生児法は、遺伝と環境及びそれらの交絡による影響を検討する上で用いられる研究手法の一つである。

C. 非共有環境とは、きょうだいであっても一人一人が別個に経験するものであり、家庭環境におけるきょうだい一人一人への異なった接し方や教育のしかたなども相当する。

D. パーソナリティは家庭環境（共有環境）の影響が遺伝の影響よりも大きい。

問題 14　シナプスに関する記述として正しいものはどれか。

A. 電気信号のみで情報が伝達される。

B. ニューロン同士が直接結合している。

C. 神経伝達物質が情報伝達に関与する。

D. すべて抑制性である。

問題 15　前頭前野の主な機能として最も適切なものはどれか。

A. 視覚情報の一次処理

B. 聴覚刺激の分析

C. 反射運動の制御

D. 実行機能や意思決定

問題 16　社会的手抜きが最も起こりやすい状況はどれか。

A. 個人作業が中心の課題

B. 課題の難易度が極端に高い場合

C. 集団全体で成果が評価される課題

D. 個人の成果が明確に評価される課題

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問題 17　傍観者効果が生じる主な理由として最も適切なものはどれか。

A. 集団極性化
B. 個人の能力不足
C. 社会的促進
D. 責任の分散

問題 18　発達心理学における発達（development）の捉え方として、最も適切なものはどれか。

A. 年齢とともに一方向的に能力が向上する過程
B. 生得的能力が成熟によって自動的に表出する過程
C. 生涯にわたる変化の過程であり、獲得と喪失の両方を含む
D. 幼少期から青年期までに限定される心理的変化

問題 19　次のうち、認知発達を段階的に捉え、同化と調節の概念を提唱した人物は誰か。

A. L. S. Vygotsky
B. J. Piaget
C. E. H. Erikson
D. J. Bowlby

問題 20　障害の理解に関する社会モデルの説明として、最も適切なものはどれか。

A. 障害は個人の心身機能の欠損（インペアメント）に起因する問題である。
B. 障害は主として医学的治療によって改善されるべき問題である。
C. 障害は発達過程における未成熟さを意味する。
D. 障害は個人と社会環境との相互作用によって生じる。

問題 21　発達障害児への心理的支援に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A. 発達障害は成人期には自然に消失することも多いため、早期支援は必ずしも必要ない。
B. 行動上の問題の改善を最優先とする。
C. 本人の特性理解とともに、家庭や学校環境への支援を行う。
D. 支援は専門家のみが行い、保護者や教師の関与は避ける。

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問 22　認知症に関する説明として、**誤っているもの**はどれか。

A. 最も一般的なものがアルツハイマー型認知症であり、次いで血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症の順に多い。
B. 認知症の主な症状は、認知機能障害などの中核症状と、行動・心理症状を表す周辺症状（BPSD）の 2 つに大別される。
C. レビー小体型認知症では、初期からかなりの頻度で幻視がみられる。
D. 前頭側頭型認知症では、常同行動や抑制が効かなくなるなどの症状が生じる。

問 23　乳幼児健康診査について、**誤っているもの**はどれか。

A. 母子保健法において、市町村において「1 歳 6 カ月児」及び「3 歳児」の実施が義務付けられている。
B. 健康診査の場面では身体的発達だけではなく、ことばや社会性の発達、親子関係のアセスメントなども行われる。
C. 日本では、法定健康診査の受診率が全国的に 90%に満たないことが課題である。
D. 保健師だけでなく、医師や心理職などさまざまな職種の協働で行われて

問題 24　援助者が利用者に対して行う説明責任を、表している用語はどれか。

A. アウトリーチ
B. アドボカシー
C. エンパワメント
D. アカウンタビリティ

問題 25　ADHD や自閉スペクトラム症の子どもの親に行う支援方法として推奨されているプログラムはどれか。

A. マインドフルネス
B. ペアレント・トレーニング
C. エンプティ・チェア
D. 箱庭療法

問題 26　高い目標を立て、それを完遂しようとする動機として最も適切なものはどれか。

A. 内発的動機
B. 達成動機
C. 生理的動機
D. 親和動機

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問題 27　抑うつ状態にある児童生徒が試験で失敗した時に行う原因帰属の特徴を表す記述として、最も適切なものはどれか。

A. 失敗の原因を試験の困難度に帰属する。
B. 失敗の原因を運の悪さに帰属する。
C. 失敗の原因を自身の能力に帰属する。
D. 失敗の原因を体調不良といった試験時の自身の状態に帰属する。

問題 28　家庭裁判所の主な管轄事項はどれか。

A. 行政処分に対する不服申立て
B. 民事事件の金銭トラブル全般
C. 刑事事件の第一審裁判
D. 家事事件・少年事件の審判

問題 29　司法面接の目的として最も適切なものはどれか。

A. 子どもが事件の詳細を思い出しやすいよう誘導すること
B. 子どもの供述の正確さと信頼性を確保すること
C. 面接官の意見を伝えて考えさせること
D. 事件の真相を面接官が判断すること

問題 30　人事評価におけるバイアスを説明する理論について、最も適切なものはどれか。

A. S. E. Asch が提唱した初頭効果理論
B. J. S. Adams が提唱した衡平理論
C. F. Herzberg が提唱した動機づけ・衛生理論
D. K. Lewin が提唱したグループ・ダイナミックス理論

（次の頁に続きます）

２０２７度　大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 問題・解答用紙

総合基礎科目

問２.　以下の２つの問題について、それぞれ指定された語句や着眼点を踏まえて論述しなさい。

記述問題１

心理学研究では、*p*値だけでなく効果量を報告することが重要である。効果量が重視される理由を、*p*値との違いを踏まえて説明しなさい。

*p*値は、帰無仮説が正しいと仮定したときに観察された結果以上に極端な結果が得られる確率を示す指標であり、効果の大きさを表すものではない。また、サンプルサイズの影響を受けるため、大規模な研究では小さな差でも有意になる一方、小規模な研究では大きな差でも有意にならないことがある。

これに対して効果量は、群間の差や変数間の関連の大きさを示す指標であり、結果の実質的な重要性を評価できる。さらに、研究間の比較やメタ分析にも利用できるため、心理学研究ではｐ値だけでなく、効果量（可能であれば信頼区間も含む）をあわせて報告・解釈することが重要である。

記述問題２

心の理論について、「誤信念課題」「自閉症児」の用語を用いて述べなさい。

心の理論とは、他者には自分と異なる心的状態が独立して存在していることを理解する能力のことで４歳頃に獲得されるといわれている。これを確かめるための課題が、誤信念課題である。サリーとアンの課題ともよばれる。誤信念課題では、自分は知っていることが物語中の登場人物は知らない、という状況が提示され、そのことを正しく理解できているかを問う。心の理論が成立していない場合、自分が知っているのだから登場人物も知っているはずと思い込み、正しく答えることができない。４歳から５歳ぐらいで、心の理論が成立すると言われている。

サリーとアンの課題では、部屋で一緒に遊んでいたサリーとアンだが、サリーがボールをかごの中に入れて、外に遊びに行き、その間にアンはボールを別の箱に移しました。サリーが部屋に戻ってきます。部屋に戻ってきたサリーはボールを取り出そうと最初にどこを探すでしょうかという問題に、多くの子どもたちがかごと答えるのかは、４歳ころからである。自閉症児の理解において、自閉症児の抱えるさまざまな困難は、心の理論をもたないことが一つの原因ではないかとの視点がある。

（次の頁に続きます）